

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

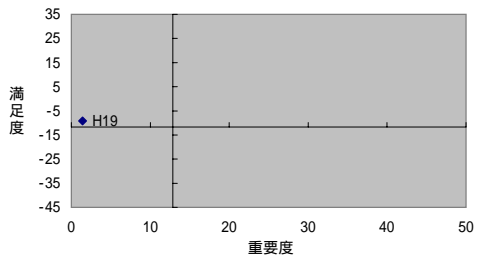
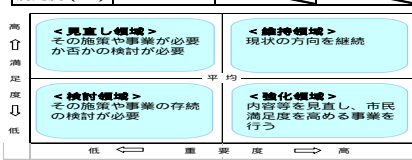
施策名 (小項目)	地域間・国際交流	コード	作成者	役職	企画課長
		05-02-01		氏名	岩崎 透
				電話	64-1871

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	市民主体の協働のまちづくり
	中項目(基本施策)	ふれあい豊かなまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が国際感覚を身につけ、誰もが暮らしやすいまちを目指す。特に、青少年の時から国際感覚を身につけるため。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の国際交流は、オーストラリアのクリア&ギルバートバレー町との姉妹都市縁組、韓国蔚山広域市東区文化院との文化交流協定を締結しており、青少年による相互交流を行っている。今後は、本市の地域資源を活用し、他地域との人的交流を促進するほか、交流地域や学校・国際交流関係機関との連携を図りながら、文化やスポーツ、観光などをはじめとする交流事業に取り組み、グローバルな視野を持った人材を育成する必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域間の交流事業の推進</li> <li>外国人との交流の促進</li> <li>外国との交流事業の推進</li> <li>外国人への支援</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	1.4		
満足度(%)	-9.2		



調査結果に対するコメント、市民の反応等	満足度も重要度も低く、市民の関心は低い。また、「市政に関する意見」にも国際交流事業に関する意見はなかった。しかしながら、国際化の進展により、青少年の国際交流事業は活発化させる必要がある。
---------------------	---

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 八塔寺国際交流ヴィラ利用者数	目標	人/年 850	850	850	850		利用者が多いと国際化が進んでいる。
	実績	人/年 875	836				
	達成率	% 102.9	98.4				
2 備前市国際交流協会会員数(個人)	目標	人 50	80	100	110		会員数が多いと国際交流の理解度が高まっている。
	実績	人 33	78				
	達成率	% 66.0	97.5				
3 備前市国際交流協会会員数(法人)	目標	社 10	10	12	15		法人会員数が多いと国際交流の理解度が高まっている。
	実績	社 5	10				
	達成率	% 50.0	100.0				
4	目標						
	実績						
	達成率	%					

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A-E (高-低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
			H17		H18		H19		
			直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	
1 国際交流事業	B	韓国文化交流事業	ソフト事業 1,972	4,790	737	3,230			
		オーストラリア姉妹都市交流事業	ハード事業 3,307		760				
2 国際交流推進事業	C	東南オーストラリア州友好協会会費	内部管理 10		10				
		県国際交流協会会費	内部管理 10	0	10	840			
		市国際交流協会助成金	内部管理 20		110				
		県日中懇話会会費	内部管理 10		10				
3 国際交流ヴィラ管理事業	B	国際交流ヴィラ管理事業	ソフト事業 2,458	600	3,209	840			
		国際交流ヴィラ運営協議会負担金	内部管理 356		356				
4 外国人受入れ支援事業	C	外国語表記観光パンフレット作成事業	ソフト事業		0	0			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

H17	H18	H19
13,533	10,112	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
備前市国際交流協会	中国雑技団招聘事業	中国文化交流フェスティバル実行委員会事業の一環として実施
学校教育課	ALT事業	児童・生徒にも交流の機会を設けることができる
備前市国際交流協会	外国人受け入れ事業	協会独自の事業として、アメリカの中・高校生を受け入れる

施策の評価

5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い

項目	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	韓国・豪州からの児童・生徒の受け入れ事業を実施した。八塔寺国際交流ヴィラの利用者は減少した。	3	同左
2 事業構成の適当性	3	国際感覚を養うための交流事業は、引き続き実施する必要がある。	3	同左
3 施策の有効性	3	国際交流ヴィラの利用率が低下、施設の老朽化など課題もあるが、引き続き管理運営する。	3	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	韓国・豪州との交流は、参加希望者が少ないものの、参加者には大変好評であり、国際交流事業をもっと市民にアピールする必要がある。八塔寺国際交流ヴィラは、収益性が低く、利用者数も低下しているが、日本人でも利用可能となったので、積極的にPRして利用率の向上を図る必要がある。			国際交流協会との連携により、国際交流事業のPRに努めること。
二次評価者コメント	役職 企画財政部長 氏名 玉垣 和志 中国雑技団招聘事業は好評であり、来年度も開催する方向で検討する必要がある。			平成20年度予算の方向性 重点配分